

CNSニュースレター

～千葉の地から、千葉のチカラ～

2019 春
vol.23



3月初旬、棚田に水を溜め始めた大山千枚田（鴨川市）。4月には田植えが始まります。

も く じ

□一灯照隅	…2	□CNS ネットワークイベント情報	…8
□指定管理の現場から	…3	□ろくすけ日和	…10
□12～2月の現場レポート		□千葉シニア自然大学	…11
・主催事業	…4	□みんなのおおきな食卓	…12
・ネットワーク、受託事業	…6	□松田料理長のおすすめ料理	…12
・指定管理施設の主催事業	…7		
□こんなことにチャレンジしています！	…7		

一灯照隅

理事長 飯田 洋

大量に降り積もった屋根からの雪下ろし、深夜の除雪作業など、雪のない暮らしをしている者にとっては、想像を絶する雪との闘い、この環境を前向きに捉えて力強く生きる雪国の人たちの姿に脱帽です。

恵まれた環境の街に住み、寒い寒いと肩を窄めて愚痴っている自分が恥ずかしくなります。



季節はめぐり、厳しい冬をやり過ごした日本に再び満開に咲き誇る桜の季節を迎えました。

千葉自然学校も4名の新人を迎え、心新たな年度を迎えました。彼ら、彼女らが一日も早く仕事に慣れ、千葉自然学校の掲げるミッションをしっかりと理解し、自然体験のプロとして独り立ちができるようにしなければと考えています。

三十年間にわたる平成の時代を終え、5月1日からは新元号による歴史が刻まれます。

今、われわれを取り巻く環境は、少子化、高齢化、人生100年時代、そして働き方改革など確実に変化して来ています。

この環境に如何に適応し、事業の中に取り込んで行く事が出来るかが、これからの自然学校の課題と考えています。

そのためには、アンテナを高くして社会の動きを捉えて行きたいと思います。

そして、経営の柱である、全世代を対象とした事業の強化、国・公共団体・企業団体からの事業が受けられる信用力の高い運営、県市の社会教育施設等の運営管理などをしっかりと進めて行きたいと考えています。

「茅葺古民家ろくすけ」の整備が、取りあえず一段落しました。

今後は、多くの人達に活用して頂き、田舎暮らしを体験する拠点となればと考えています。

忙しい日々を送る方々が、里山の自然の中で田舎の暮らしを体験し、ゆったり過ごす場所として認知して頂ければと思います。

皆さまのご利用をお待ちしています。



「一灯照隅」この後に「万灯照国」と続きます。これは、1つの灯りは隅しか照らせないが、万の灯りは国全体を照らすことができる。転じて、一人一人が自分の役割を懸命に果たすことが、組織全体にとって最も貴重であるという意味の最澄の言葉です。

指定管理の現場から

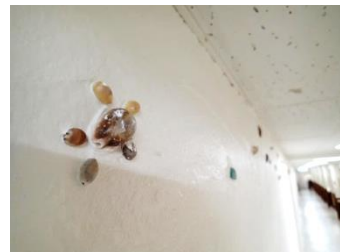
千葉自然学校は、現在県内にある3ヶ所の施設を指定管理者として千葉県、南房総市からそれぞれ委託を受け、管理・運営を行っています。
このコーナーでは、それぞれの施設での取り組みや想いを皆様にお届けしていきます。

南房総市大房岬自然の家 所長 神保清司

新年度を迎えました。春を待つ間に施設の設備改修工事が行われました。お風呂のお湯を循環ろ過するための機器、そして施設に燃料を送り込む装置も更新されています。宿泊室や内壁の一部も、調湿機能のある珪藻土や漆喰を使って塗り替えました。こちらはスタッフ自らが安全な素材を調べ、施工まで行いました。

施設の管理面は、当然のことながら、休所日にバックヤードで行われることが多く、なかなかお客様の目にはつかないところですが、安全に快適に滞在中過ごしていただくため、出来る限りの知恵と労力でスタッフ一同頑張っています。

4月は、オリエンテーション合宿の季節です。学校に入学したばかりの新1年生が互いを知り合うための合宿です。初々しいぶかぶかのジャージや制服に身を包んで訪れる中高生たちが、最後は笑顔で帰っていけるように私たちも精一杯お手伝いしたいと思います。



千葉県立君津亀山少年自然の家 所長 庄司達哉

「花粉症」

君津亀山少年自然の家（きみかめ）はスギやヒノキの人工林に囲まれた自然の家です。

今の時期、花粉症の方にとってきみかめはとてもつらい環境になります。花粉症の原因となるスギやヒノキはどのくらい日本にあるのでしょうか。林野庁のデータによると日本の森林面積の内 28%がスギ・ヒノキの人工林と書かれています。こうした大量のスギ・ヒノキが植えられたのは高度経済成長期だと言われています。当時の方が、木が成長して売れば金になると考え針葉樹の植樹をしました。しかし、貿易の自由化に、



よる外国産材の流入や林業の担い手不足などによって人工林の多くが伐採適齢期を過ぎているにも関わらず、放置されるといった結果になりました。

花粉症、根本的な原因は今の世の中で生産と消費の現場が繋がっていないことではないでしょうか？私たちの生活の中には、何の材料で、どこでどうやって作られたか、ほとんど知らないもので溢れています。放置されている多くの人工林に活路を見出すことで、花粉症に悩む人も少なくなり、獣害や土砂崩れの発生防止に効果があると考えています。

千葉県立大房岬自然公園 公園長 山口亮介

「大房岬には、どんな動物がいますか？」

「タヌキ！」「アナグマ！」「リス！」イベントなどで子ども達に自然の話をするときに、そんな導入からはじめることが多いです。子ども達の答えは様々です。

ただ、そんな大房岬の動物の話も、最近は確信を持って言えなくなってきました。年に数回目撃される1匹のはぐれザルや、春に目撃が相次いだイタチと思われる謎の動物。大房岬の付け根まで生息域を広げており、入ってくるのは時間の問題のイノシシ。今までいなかった動物が入ってくれば、良くも悪くも生態系は激変します。それが人為的な影響で入ってくるのであれば問題は深刻です。公園を管理するビジターセンターとして、しっかり調査をしていかなければなりません。

「大房岬には、どんな動物がいますか？」「アライグマ！」「カミツキガメ！」「タイワンザル！」なんて答えが正解にならないようにしていきたいです。



⑫①②月の現場レポート « 主催事業 »

週末・こども

～イベントキャンプ②～

森のクリスマスキャンプ

12/22(土)～23(日) 施設泊 君津亀山少年自然の家
小学生 ◆ダッチオーブンで鳥のコラ煮/蜜蝋クリスマスキャンドル/夜のクリスマス大作戦



今回は参加者 21 名、スタッフ 7 名、総勢 28 名での実施となりました。冬の森に囲まれた自然の家を舞台にここでしか味わえないクリスマスを過ごしました。

野外炊飯では魔法の鍋「ダッチオーブン」を使ってスペシャルディナーを作りました。柔らかくジューシーな鳥のコラ煮を子どもたちはペロリと完食してしまいました。夜のサンタ大作戦では、サンタさんの代わりにプレゼントを届けるために、広い館内に散りばめられた課題に挑戦しました！五感を使った課題をお友達と協力して見事クリアしました♪

2 日目はキャンプの思い出に、蜜蝋キャンドルと小さなサンタさんを作りました。森の素材を使いながら子どもたちならではのアイデアが盛り込まれていました。オリジナルティ溢れる作品たちが仕上がりました♪

料理やプレゼント、何よりお友達をつくり、みんなで一つのイベントをつくりあげました。もらうだけでなく自分でつくりだす楽しさ、みんなでつくりあげる楽しさを子どもたちは少しでも感じてくれたと思います。

週末・こども

～スペシャルキャンプ②～

スノーあそベンチャー

12/22(土)～24(月) 施設泊 新潟県 妙高市
小学生 ◆雪合戦/雪灯ろう作り/ソリ・チュービング遊び/かまくら作り/



千葉県を遠く離れて 新潟県のたくさんの雪で思いっきり遊びました。暖かい日が続く中の新潟への出発となりましたが、施設の中の積もった雪に子どもたちは大はしゃぎ。思い思いの雪遊びを楽しむことができました。

夜には2日目の活動の作戦会議をし、翌日の活動では、雪だるま作りやすべり台作りで一生涯懸命取り組みました。

最終日は、眠っている間に降り積もったふわふわの雪でチューブすべりや転がり遊びを行うことができました。降り積もった雪の幻想的な景色や屋根からくずれてくる雪崩のような雪を子どもたちは興味津々で見つめていました。

普段の生活では体験できないような雪山での活動。子どもたちの冒険心をくすぐるような元気いっぱい3日間でした。千葉自然学校では、日常では味わえないような“アドベンチャー＝冒険”キャンプをご提供していきます。

またのご参加を心よりお待ちしております。

週末・こども

～茅葺屋根の古民家②～

のんびり焚き火料理と里山あそび

2/2(土)～3(日) 古民家泊 南房総市 平久里
小学生 ◆節分豆まき/恵方巻作り/里山あそび/たき火で竹を使った炊き込みご飯



のどかな里山に囲まれた築 190 年の古民家を拠点に、今回は節分を通して、日本文化とふれあいました。

立春を感じさせる菜花の収穫から活動がスタート。そして、炒り豆や恵方巻を丁寧に作りました。

「なぜ豆をまくの？恵方巻を食べるの？」という意味を知ると、節分がより楽しく身近なものになり、そこから鬼や鰯、恵方のこと等、様々に興味を広められました。

焚き火では、竹筒を使った炊き込みご飯にチャレンジ。みんなで火を囲むあたたかさを感じ、自然にあるものから工夫をすれば美味しいものが出来る事や焚き火の豪快な料理の楽しさを感じてくれていたら幸いです。

里山では、子どもがのびのびと過ごせる環境があります。子どもの心から湧き上がってくる「〇〇がやりたい！」という遊びを可能な限り実現できるようスタッフもサポートしています。今回も活き活きとした子どもたちの姿が見られました。

週末・こども

～スペシャルキャンプ③～

氷のワカサギ釣りキャンプ

2/9(土)～11(月祝) 施設泊 前橋市赤城少年自然の家
小学生 ◆雪灯ろう作り・ライトアップ/氷のワカサギ
釣り/ソリ遊び/雪合戦



子ども 11 名、スタッフ 5 名、合計 16 名の少人数キャンプでしたが、その分お互いの顔と名前をしっかりと覚えられる濃い三日間となりました。

子どもたちは、とても素直で、自分のことをしっかり大人に伝えられる元気な子が多かったです。二日目は強風のため、ワカサギ釣りを変更し、雪合戦やソリ遊びを楽しみました。雪合戦は 2 チームに分かれたチーム戦を行ったのですが、一試合が終わっても、すぐに子どもたちから次の試合のカウントダウンがはじまり、終わらない…。何十回雪合戦をやったか分かりません。途中からスタッフに疲れが見えていました。遊びに関する体力では子どもにはかいません。

ワカサギ釣りは釣れた子、釣れなくても最後まで真剣に釣りに取り組む子、飽きてしまう子、いろいろな反応がありました。標高 1400 メートル付近の凍った沼での釣り。吹雪になったり、魚のエサの食べが悪くなったり、糸がからまったり、トラブルもいろいろです。ただ、困ったときも、スタッフに頼ったり、自分で頑張ったりしながら、楽しみながら、解決していく子どもたちの姿が見られました。

日帰り・大人

柳川溪谷の紅葉を楽しみ大福山へ

12/1(土) 日帰り 君津市 ◆柳川溪谷/大福山

天気に恵まれ、参加者 15 名の皆さんと柳川溪谷沿いの紅葉ハイキングに出かけてきました。大福山までは静かな里の雰囲気が残る道を歩いていきます。どこかなつかしく、ほっとする景観に出会うことができます。

大福山に近づいてくると人の多さにびっくりします。梅ヶ瀬溪谷の紅葉に多くの人が訪れていました。大福山は市原市の最高峰です。帰路は車道を通り紅葉の中を下山しました。小湊鉄道養老溪谷駅はお土産屋さんや電車待ちの人々で大変混雑しています。アイスやアユの塩焼きを食べながら帰りのバスを待ちました。これもまた、下山後の楽しい時間です。

黄和田田畑より石尊山・麻面原を抜け清澄寺

1/19(土) 日帰り 君津市・鴨川市 ◆七里川温泉/石尊山/初日山/清澄山

年明け初の山行は、きみかめの近く七里川温泉から清澄寺までのロングハイイクに行ってきました。絶好のお天気の中 13 名のみなさんと出発。石尊山までの表参道は急階段です。足元に気を付けながら登っていきます。頂上まで頑張れば初日山までの変化にとんだ尾根歩きになります。コース上にはモミの大木があり、「もみ太郎」や「もみじろう」など名前がついています。初日山はアジサイで有名な天拝園にあり太平洋までの景観に恵まれています。この山まで来ると歩いたな一と感しますが、今日のゴールはまだ先にある清澄寺になります。日が延びてきたとはいえ清澄寺につく頃は薄っすらと暗くなる時間でした。



四万木より不動滝・道六番所跡を巡る

2/24(日) 日帰り 君津市・鴨川市
◆不動滝/東大演習林内/清澄寺



前日の雨の影響で翌日に順延しての開催となりました。

当日はすっきり晴れ、参加者 13 名のみなさんと東大演習林内を巡る古道ハイキングに出かけてきました。鴨川市の四万木より出発。なんでも四方を木に囲まれていたのでこの呼び名となったとか。不動滝見学後ヘルメットを装着に登山道へ入ります。沢を渡り急な山道を詰めると尾根に飛び出します。清澄寺から大多喜、久留里方面に延びる古道が付近を巡っています。

東には浅間山方面の山並みが、西には石尊山方面の尾根筋を望みながら道六番所跡方面に進みます。清澄寺から今澄番所跡までのコースも楽しみ無事ゴールの清澄寺に戻りました。

「ネットワーク・受託事業」



千葉県 中山間ふるさと活性化チャレンジ事業 「しなやかな未来の日本をつくる人づくり」

県内の農業高校生が中山間地域に入り、活性化の一助となることを目的とし、チャレンジしてきた本事業もスタートから3年が経ちました。

耕作放棄地を活用し、在来種を育て地域PRの一翼を担ったり、野生鳥獣の活用でジビエ肉のレシピ提案を道の駅と連携して取り組んだり…。アクションを起こすことで地域からの要望が更に出て、発展してゆきます。

当時1年生だった生徒は、高校3年生になり4月には新たな道へと進んでゆきます。農業の分野へ進学・就職する人、全く異なる分野へ進む人。進む道が違えど体験してきたことは未来の1つ1つの選択において、必ず役に立つと確信しています。

伝統や文化・智慧を残し、豊かな資源や環境を提供し、私たちの命を支えてくれている場所は、紛れもなく中山間地域です。人が入ることで新たな気付きを得て、人も地域も輝き出す。本事業の体験を通して1人でも多く、その大切さに気づいてほしいと強く願ってやみません。



(文：谷慶子／けろっぴ)



ネットワーク事業 「上総エリア事業部会」



今回の事業部会では昨年度に君津亀山少年自然の家に設置された上総掘りの体験と竹ヒゴ作りを研修形式で実施しました。

上総掘りは君津の職人達が育み、明治中期に完成した掘り抜き井戸工法です。上総の地質であれば職人は通常2～3名で、動力を使わずに150～500m程度の井戸を掘削できるのが特徴です。

研修では、上総掘りで使用するホリテッカン(掘削の鉄管)、スライコ(掘削孔から泥を排出するための鉄管)、シュモク(竹ヒゴに取り付ける持ち手)など道具の紹介から、鉄管を支える役目の竹ヒゴの作り方で実際に体験していただきました。

上総掘りに興味がある方は君津亀山少年自然の家で体験が可能です。ぜひお立ち寄りください。

※上総掘りの体験は事前に予約が必要です。

(文：庄司達哉／シュレック)



自然体験活動指導者（NEALリーダー）養成講座

2月、雪化粧で真っ白になった芝山町にお邪魔してきました。成田空港を離着陸する飛行機の航路真下にある飛行機好きにはたまらない町です。

今回は、芝山町版DMOの構築を目指す町内外の有志の方で構成された「一般社団法人みどりと空のプロジェクト」からご依頼をいただき、自然体験活動の指導者養成講座を実施してきました。

参加された25名は、すでに活躍されている方、これからやりたいことがたくさんある方、そんな方々をサポートしたいと参加された方と様々で、とてもいい雰囲気の中での講習となりました。

終盤で挑戦していただいた企画作りでは、皆さんの魅力と人柄が詰めこまれたとてもおもしろくなりそうな企画がどんどん出てきました。あくまで企画段階ですが、悩みながらもとても楽しそうに企画を作る皆さんを見ていたら、きっとこれからたくさんの方がここを訪れ、ファンが増えていくのだらうと思わずにはいられませんでした。

研修がおわって数日後、これから企画会議をしますご連絡いただき、1ヶ月もたたないうちにいくつかの企画が実行され始めています。驚きました。皆さんも「みどりと空のプロジェクト」のホームページをご覧ください。そしてぜひ芝山町へ！(文：佐藤玲子／かつを)



■こんな取り組みもしています■

～未来の先生たちに～

毎年2月になると、南房総市大房岬自然の家を会場に養護教諭を目指す大学生の実習が行われます。自然の家の職員がプログラム講師として学生たちに、子ども対象のレク活動や野外活動でのリスク予知、野外調理体験などを行っています。大房岬での体験を活かして未来の先生たちが子どもたちへの野外教育を紡いでもらえたら幸いです。

「指定管理施設の主催事業」

「南房総ロングトレイル」 南房総市大房岬自然の家



今回は、南房総一帯を治めていた戦国大名里見氏の居城稲村城がスタート。当時の形状が今でもしっかり残る重要な史跡で、主郭からの景色は抜群です。稲村城からは、里見氏が街道として使っていたとされる古道歩き。今でもし

っかりと道が残り、獣の痕跡も多い自然度の高い道です。

しばらく進むと小松寺に到着。開基 1300 年の歴史あるお寺で、紅葉時期（12 月初旬）には綺麗なモミジの色づきを見ることができます。

お昼休憩後は再び古道へ。ここからは大貫古道と呼ばれており、保存会によって整備されている歩きやすい道です。ここでもクスノキ、スダジイなどの大木が見られ、浅間様や乙王の墓などの史跡も見ることができました。

最後は安房グリーンラインに合流してゴール！後半は天候も回復し春の訪れを感じるトレッキングとなりました。（文：白井健／ネギ）

「岬レンジャー」 千葉県立大房岬自然公園

2 月 24 日（日）に「岬レンジャー 岬の秘境探検」を実施しました。毎回小学生のレンジャーたちに岬の生きもの調査をしてもらうイベントですが、今回は今年度最後ということで、卒業試験の意味も込めて生きものクイズを解きながら岬を大冒険するスペシャルな回となりました。

地図に隠されたポイントは、洞窟の中や園路を外れた森の中など、秘境探検にふさわしい、人があまり入らない所ばかり。それでもレンジャーたちはチームワークを生かして全てのポイントを見つけました。

クイズは、過去の岬レンジャーに関わってきた生きものたちからの出題。「公園にないドングリはどれ？」「磯で危険な生きものはどれ？」など。レンジャーたち達は正解を続出し、採点すると 1000 点満点中 990 点という予想外の高得点！これにはびっくりさせられました。ちゃんと一年間の活動が染み込んでいたようです。

（文：山口亮介／こめ）



「きみかめ杯争奪サッカー大会」 君津亀山少年自然の家



きみかめ初の試み「第一回きみかめ杯争奪サッカー大会」を 2 月 9 日・10 日の二日に渡り開催しました。積雪にも負けず 4 チームが集い、高学年の部、低学年の部それぞれの優勝を目指し試合を行いました。初日は大粒の雪が舞い落ちる中、滅多に経験出来ないフィールドコンディションで、普段と違うボール感覚に初めは戸惑っていた子どもたちでしたが、試合が進むにつれて雪のグラウンドに適応し、ダイナミックにボールを追いかけていました。二日目は前日とは打って変わっての晴天。多少のぬかるみは残るものの今までの練習の成果を存分に発揮した試合が繰り広げられました。

二日連続の試合構成でしたが、会場に近い自然の家に宿泊することで、初日の疲れを十分癒して翌日の試合に挑んでもらうことが出来ました。

きみかめでは、サッカーに限らず、色々なスポーツの大会を企画中です！あんな大会をやりたいな、こんな大会をやりたいな等ありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。（文：愛場結偉／ゆいゆい）

こんなことに
チャレンジしています！

「ちばを“農泊”で盛り上げる」

今年度も、千葉県から「都市農山漁村交流活性化事業」を受託し、「農泊の推進」をテーマにセミナーや研修会、県内で農泊に取り組む地域・団体の情報交換会を行いました。

「農泊」は、現在、国が推進している「農山漁村滞在型旅行」と呼ばれる泊食分離の地域連携型の取組です。地域が一体になり、訪れる方をおもてなしすること。また、これまでボランティア的に見られることの多かった地域活性化の取組をビジネスとして捉え、持続可能な自立した地域を作ることを目指しています。

千葉には、都心部や国際線の空港から 1～2 時間で行ける農山漁村エリアが多く存在します。千葉自然学校が管理する古民家ろくすけがある南房総・平群地区もその 1 つです。こういった農山漁村や中山間地域には宿泊施設が少なく、プログラムを充実させても、訪れる方の滞在時間を伸ばせないことが共通の課題となっています。

宿泊場所の対策として、今までは農林漁家にお客さんを泊める「農林漁家民宿」の推進が主でしたが、「泊・食・体験」の提供が求められるという負担感から、開業に踏み出せる農林漁家の方はなかなか少ない現状がありました。



い現状がありました。

農林漁家だけでなく旅館や民宿、キャンプ場等に宿泊し、地域の中で農林漁業や文化的な体験に触れ、地域の食堂で地産地消の食事を楽しんでもらおうというスタイルの「農泊」が、この課題を打破するきっかけとなる地域が出てきています。

各地域の特色ある「農泊」が、国内外に「千葉ならではの」魅力として PR されるような取組になることを願い、今後も千葉自然学校としてできる活動を継続していきたいと思っています。



CNS ネットワーク ④⑤⑥月のイベント情報

沖合・沿岸イルカウォッチング

それぞれの時期に出産や子育てのため銚子沖へ回遊してくる野生のイルカをウォッチングしています。4・5月は沖合で「カマイルカ」に、6月は沿岸で小型のイルカ「スナメリ」の親子に出会えます。

【出航時間】

4・5月：1日1回出航 10:30

※ゴールデンウィークは1日2回出航 8:00、13:00

6月：1日3回出航 11:00、13:30、15:30

【会場】銚子海洋研究所（銚子市）

【対象】4・5月…小学生以上、6月…3歳以上

【参加費】

4・5月：高校生以上 7,000円、小中学生 5,500円

6月：高校生以上 3,500円、小中学生 2,500円、幼児 1,500円

【連絡先】有限会社 銚子海洋研究所 TEL:0479-24-8870

新緑・森・そばハイキング

林道奥谷線～国有林眺海コース～もみの木庵にて昼食(そば)～大森林道～モミの木コース～もみの木庵まで約11kmの春のハイキング。やや健脚向き。

【開催日】4月16日(火)

【対象】小学生以上(中学生以下のお子様は保護者同伴)

【参加費】1,800円 ※森の宿「せせらぎ」宿泊の方参加費半額

【会場】内浦山県民の森(鴨川市)

【連絡先】内浦山県民の森 TEL:04-7095-2821

ピザ焼き体験

生地作りから焼きまでを体験します。レンガの窯で焼くアツアツのピザは格別です。スープと共に召し上がれ!

【開催日】4月20日(土) 10:00～13:00

【対象】どなたでも(小学生以下のお子様は保護者同伴)

【参加費】1,600円

【会場】館山野鳥の森(館山市)

【連絡先】館山野鳥の森 TEL:0470-28-0166

岬の楽校 リアルすごろく in 大房岬

何が出るかな!?巨大さいころをふってLet's Go! チェックポイントのお題に挑戦しながらゴールを目指すよ!

【開催日】4月20日(土) 10:00～15:00

【対象】小学生

【参加費】1,500円

【連絡先】南房総市大房岬自然の家 TEL:0470-33-4561

海とアートの学校まるごと博物館

重要文化財「海の幸」を描いた青木繁をはじめ、多くの画家に愛された「美術界の聖地」・館山市布良。海の名画の鑑賞や漁具の展示、貝磨き、歌や殺陣演舞などのパフォーマンス、名画誕生の漁村ウォーキングなど、海とアートにまつわる体験を楽しめます。そのほか、バザーやフリーマーケット、軽トラ市などを企画しています。

【開催日】4月27日(土)～5月6日(日)

【参加費】無料

※体験の内容によっては、各自負担。

※青木繁「海の幸」記念館は入館料がかかります。

(一般 200円、小中高 200円)

【会場】旧富崎小学校(館山市)、青木繁「海の幸」記念館

【主催者】青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会

【連絡先】事務局「NPO法人安房文化遺産フォーラム」

TEL:0470-22-8271

メール: awabunka.npo@gmail.com

磯の生き物発見ツアー

南房総の磯は海の生き物の宝庫。種類は100種類以上! 不思議と発見に満ちた磯の世界を大房スタッフと見に行こう! *潮がひく時間帯に合わせるため、日によって時間が違います。

【開催日】①5月3日(金)・②4日(土) 8:45～11:30

③5月5日(日)・④6日(月) 9:15～12:00

⑤5月18日(土)・⑥19日(日) 8:45～11:30

【対象】どなたでも(中学生以下は保護者同伴)

【参加費】1,500円

【会場】南房総エリアの磯場

【連絡先】南房総市大房岬自然の家 TEL:0470-33-4561

ツリーイング&森のターザン遊び

新感覚の木のぼり体験! 君はどこまで登れるか! ?

「ツリーイング」とは・・・高い木にかけた専用ロープと、ツリーハーネスと呼んでいる安全ベルトをつなげ、ぶらさがったまま登り、木の上の世界を楽しむ新感覚のアウトドアレジャーです。

【開催日】5月4日(土)

①9:30～11:45、②13:00～15:15

【対象】小学生以上(小学生は保護者同伴)

【参加費】5,000円

【会場】大房岬自然公園内 ※荒天中止

【講師】ツリー・マスター・クライミング・アカデミー

※ロープなどの道具の使い方から、樹の登り方まで教えてくれるので初めての方でも安心です

【連絡先】南房総市大房岬自然の家 TEL:0470-33-4561

初夏の野鳥観察会

日本野鳥の会会員とともに、野鳥の森園内や周辺の野鳥の観察会を行います。初夏に観られる野山の野鳥や海辺の野鳥を観察して姿やさえずりを感じてみましょう。

【開催日】5月11日(土) 9:00～14:00

【対象】どなたでも(小学生以下のお子様は保護者同伴)

【参加費】800円

【会場】館山野鳥の森(館山市)

【連絡先】館山野鳥の森 TEL:0470-28-0166

海岸線を釣り進む!! 穴釣りシーサイドウォーク

小型のリール竿を使って、磯場のロックフィッシュ(カサゴなどの根魚)を狙います! アグレッシブに海岸線を移動しながら釣りをします。果敢に磯場を攻め、釣り上げろ!!

【開催日】5月11日(土) 10:30～16:00頃

【対象】小学3年生～50歳代(未成年は保護者同伴)

【定員】10名

【参加費】高校生以上 5,000円、中学生以下 4,700円

【連絡先】南房総市大房岬自然の家 TEL:0470-33-4561

そら豆の収穫・そら豆クッキング&田植え体験

チョウチョも飛んでいる畑で、そら豆を摘んで食べよう。たんぼで田植え体験。汚れたらドラム缶風呂に入ってみよう。秋には、稲刈り体験もあるよ!

【開催日】5月12日(日)

【対象】どなたでも(小学生以下のお子様は保護者同伴)

【参加費】中学生以上 2,000円 小学生 1,500円

幼児・3才以下 500円

【会場】環南みんなの楽校(富津市 旧環南小学校)

【主催】環南みんなの楽校

【連絡先】NPO法人 千葉自然学校 TEL:043-227-7103



鴨川石造物百選をめぐる～東条地区～

地域に暮らす人々が思いを託した石造物を、当時に思いを馳せながら。約 10km 舗装道路使用（「鴨川の石造物百選」平成 25 年鴨川市教育委員会発行）

【開催日】5 月 12 日（日）

【対象】小学生以上（中学生以下のお子様は保護者同伴）

【参加費】1,400 円

※森の宿「せせらぎ」宿泊の方参加費半額

【会場】内浦山県民の森（鴨川市）

【連絡先】内浦山県民の森 TEL:04-7095-2821

アウトドア料理をはじめよう! ソトごはん倶楽部

アクアパッツア&手作りちぎりパン

【開催日】5 月 12 日（日） 10:00～13:30

【対象】どなたでも（小学生以下は保護者同伴）

【定員】40 名

【参加費】中学生以上 2,000 円、小学生以下 1,700 円

3 歳未満無料

【連絡先】南房総市大房岬自然の家 TEL:0470-33-4561

きみかめ森のようちえん

きみかめ（君津亀山少年自然の家）の森を舞台に、自然の中で育児をしませんか？親子でのびのび遊びましょう♪

【対象】未就学児とその保護者

【開催日】①5 月 12 日（日）10:00～12:00

【定員】15 組 【参加費】500 円/1 人※3 歳未満は 100 円

【連絡先】※4/17 受付開始

君津亀山少年自然の家 TEL:0439-39-2628

*年間予定…②9/1(日)、③11/24(日)、④2/23(日)

お試し会

お子さんと一緒に森の中で五感を使ったゲームで遊びましょう♪緑いっぱい不思議いっぱいのおきみかめを探検だ！

【開催日】4 月 14 日（日）

AM10:00～12:00、PM13:30～15:30

【定員】AM・PM 各定員 20 組 [3/16 受付開始]

【参加費】500 円/1 人※3 歳未満は 100 円

スターキャンプ鴨川～春の星空観察会～

月・木星・春の星座の観察をします。マイ望遠鏡持参可。

（君津天文同好会との共催イベント）

【開催日】5 月 18 日（土）

【対象】小学生以上（中学生以下のお子様は保護者同伴）

【参加費】200 円

【会場】内浦山県民の森（鴨川市）

【連絡先】内浦山県民の森 TEL:04-7095-2821

森のアスレチック

森の中に手作りブランコやハンモックが登場！

【開催日】5 月 19 日（日）①10:00～、②13:30～

【対象】どなたでも（小学生以下のお子様は保護者同伴）

【参加費】500 円（3 歳未満は無料）

【連絡先】※4/20 受付開始

君津亀山少年自然の家 TEL:0439-39-2628

岬の楽校 かんたん☆たくさん釣ろう！磯釣り

大房岬の磯場には小さな魚がいっぱいかけていますよ！釣ってみよう～！

【開催日】6 月 1 日（土）9:00～14:00

【対象】小学生

【参加費】1,800 円

【連絡先】南房総市大房岬自然の家 TEL:0470-33-4561

カラフルわたあめづくり

アルミ缶で色とりどりのわたあめを自分で作っちゃおう！

【開催日】6 月 2 日（日）①10:00～、②13:30～

【対象】どなたでも（小学生以下のお子様は保護者同伴）

【参加費】500 円（3 歳未満は無料）

【会場】君津亀山少年自然の家（君津市）

【連絡先】※4/21 受付開始

君津亀山少年自然の家 TEL:0439-39-2628

房総横断ハイキングシリーズ①

内浦山県民の森から国有林眺海コース・人工林散策コース・会所麻綿原コース・大多喜町道老津線・一杯水林道まで約 12km。やや健脚向け。

【開催日】6 月 4 日（火）

【対象】小学生以上（中学生以下のお子様は保護者同伴）

【参加費】1,400 円

※森の宿「せせらぎ」宿泊の方参加費半額

【会場】内浦山県民の森（鴨川市）

【連絡先】内浦山県民の森 TEL:04-7095-2821

和風庭園の箱庭を作ろう

板材を組み合わせて箱型の鉢を作り、シダ・コケなどを植栽したり石を敷くなどして、小さな箱庭を作ります。

【開催日】6 月 8 日（土）

【対象】どなたでも（小学生以下のお子様は保護者同伴）

【参加費】1,600 円

【会場】館山野鳥の森（館山市）

【連絡先】館山野鳥の森 TEL:0470-28-0166

ヒメボタルに愛隊（夜の森の観察会）

漆黒の闇にキラキラ光るヒメボタルに会いに、夜の森を歩きます。ヘビトンボやモリアオガエルにも会えるかも。雨天時は室内でのお話になります。

【開催日】6 月 15 日（土）・16 日（日）22 日（土）・23 日（日）

【対象】小学生以上（中学生以下のお子様は保護者同伴）

【参加費】大人 500 円、中学生～4 才 300 円、4 才未満 100 円

【会場】内浦山県民の森（鴨川市）

【連絡先】内浦山県民の森 TEL:04-7095-2821

じゃが芋収穫・川遊び

学校の畑で育てたじゃが芋でポテトチップス作りに挑戦します。志駒川渓谷で生き物探し生き物博士が来るよー。

【開催日】6 月 16 日（日）

【対象】どなたでも（小学生以下のお子様は保護者同伴）

【参加費】中学生以上 2,000 円 小学生 1,500 円

幼児・3 才以下 500 円

【会場】環南みんなの楽校（富津市 旧環南小学校）

【主催】環南みんなの楽校

【連絡先】NPO 法人 千葉自然学校 TEL:043-227-7103

千葉自然学校

ヤックス自然学校



自然体験プログラム（週末・GW）

ホームページに掲載中！

ろくすけ日和 『ろくすけ時間』

千葉自然学校では、築190年の古民家を管理しています。南房総市平久里という地域にあり、周りは里山。まるで昔話のような場所です。この家には屋号という昔からの愛称があり、皆から親しみを込めて「ろくすけ」と呼ばれています。シニア自然大学やヤックス自然学校のキャンプリーダーの力を借りて少しずつ整備を進めながら、子ども・大人のキャンプで活躍中です。時々テレビにも出ています！

古民家「ろくすけ」と千葉自然学校の出会いは平成16年、早いもので17年目を迎えます。初めて出会った「ろくすけ」は放置された空き家でかやぶき屋根は崩れ、畳は湿気でぐずぐず、床下には水たまりができていました。

でも、なぜかほっとできるなつかしい空間でした。

昔、おじいちゃん、おばあちゃんが自然と一緒に暮らしていたんだよ・・・畑を作り野山の恵みを利用して・・・子どもたちにそんな暮らしを伝えたいと思いお借りしました。

萱を刈って屋根を補修し、床下の防水、畳の入れ替え、トイレ・お風呂場の改修と年数をかけて多くの方たちのご協力で「ろくすけ」は復活しました。

昨年あたりから、子どもたちは、ホームステイして隠れ家づくりや虫取り、家族や大人たちは地域散策や畑づくり、加工品づくりなどそれぞれが「ろくすけ」でやりたいことをやり始めています。

今年度は、「ろくすけ」に来て、日常から解放されて、それぞれの「ろくすけ時間」が過ぎてゆく・・・そんな場づくりとお手伝いができたらいいなと思っています。

(文：遠藤陽子／サニー)



千葉シニア自然大学

「豊洲市場見学ツアー」

オープンするまで色々と話題になりましたが、昨年10月に無事オープンし見学者も多数訪れている様子がテレビ放映された豊洲市場。その様子をと、前日の陽気と打って変わった寒さの2月5日に、シニア自然大学卒業生、在校生合わせ35名がゆりかもめ市場前駅に集合。そこから見る豊洲市場の大きさに先ずはビックリ、その広さは築地市場の約2倍。

イアホンガイドをつけ、5街区「青果棟」へ。ここは、国内外の野菜、果物など青果物が取り引きされる場所で、街の飲食店や八百屋さん等が仕入れに来る仲卸市場があります。セリは終了していましたが見学コースから見下ろすと、広いスペースに商品が積まれ、通路は広く効率よく仕事が進められている様子が伺われます。

6街区「水産仲卸売場棟」。水産の仲卸店舗が集まる豊洲市場で一番大きな建物で、街の魚屋や寿司屋等が仕入れに来る場所です。中は、54区画にそれぞれの仲卸業者が入り、市場のオープン前には、1店舗が狭いと何度もテレビ放映されていましたが、それなりに上手く活用されているように見受けられます。ほとんどの店舗で営業は終了していましたが、時折通路を「ターレー」（正式名称は、ターレットトラック）が通過しています。3階には寿司、海鮮、魚料理、牛丼の吉野家などの飲食店があり、まだ11時ですが既にどの店も長い行列です。また4階の「魚がし横丁」は、商売に使う刃物、長靴ほか色々品物があり、見学者も買い物が楽しめます。

7街区「管理施設棟」。ここは、東京都や各事業者の事務所と都のPRコーナーと3階に飲食店、寿司、

海鮮丼、イタリアン、だんご店等が入店。

最後にマグロなどの国内外からの水産物がセリをはじめとする取引が行われる「水産卸売場棟」。ここでは、見学者デッキからマグロのセリが見られます。床は緑色に塗られ、マグロ等の鮮度を確かめられる工夫がされています。残念ながらセリ時間は、早朝5時からで、4～5本の冷凍マグロが見ることができました。

これで、約2時間の見学は終了ですが、平日にも関わらず見学通路は行きかう大勢の人です。やはり早朝の「セリ」を見ながらの見学が臨場感があり楽しい見学ができると思います。

次回は、早朝、友人達と訪れたいと思います。まだ見学されてない方は、今回参加の方とご一緒がよろしいかと思います。豊洲市場がスムーズに運営されていて何の問題もない様子で安心しました。

(文：鶴下斗紀雄)



みんなのおおきな食卓

～遠藤さんの料理のお話～

6次産業化が進む中で、道の駅にもゆくたびに新しい加工品が並んでいます。南房総市富楽里とみやまでは、店の奥魚売りの近くにあるソーセージが最近のお気に入りです。値段は高めですが、コクがあり、炒めてもスープに入れてもおいしいです。

このソーセージを使った春野菜の実沢山スープをご紹介します。(文：遠藤陽子／サニー)

春野菜の実沢山スープ（4人分）

【材料】

- ・キャベツ … 200g
- ・玉ねぎ … 大1個
- ・にんじん … 中1本
- ・菜花 … 2～3本
- ・ソーセージ … 4本
- ・コンソメスープの素 … 1個
- ・油 … 適量

【作り方】

- ①キャベツは、大きくざくざくに切る。
- ②玉ねぎはくし形に切る。人参は乱切りする。
- ③菜花は3, 4センチに切る。
- ④ソーセージは3個程度に切る。
- ⑤油を熱し、玉ねぎ、人参を炒める。
- ⑥ソーセージ、キャベツを入れ、水を入れて煮る。
- ⑦味を見てコンソメスープのもとで調整する。



松田料理長のおすすめ

君津亀山少年自然の家と南房総市大房岬自然の家の食堂では、千葉県産コシヒカリとふさこがねを使っていました。2019年度からは、大山千枚田の棚田で作られている「長狭米」も新たに使っていますので、色々なお米のおいしさを楽しんでください。

長狭米と大山千枚田の話を少しだけしたいと思います。

長狭米とは、千葉県鴨川市の長狭平野で収穫されるお米の総称で、稲の成長に必要なミネラル分をたっぷり含んだ土壌と良質な水が出る場所で育てられていることと地形がお米をおいしくしています。



長狭米は、明治4年に明治天皇即位の大嘗祭に献上されるお米を作り、平成3年には日本米づくり百選にも選ばれた素晴らしいお米で、寿司に最も適し江戸前寿司には欠かせません。

鴨川市にある大山千枚田は、NPO法人大山千枚田保存会が運営している天水を利用した棚田です。「日本の棚田百選」に選ばれた風景がきれいな場所です。

会員校紹介

●団体会員（35 団体）

NPO 法人大山千枚田保存会、岩井民宿組合、ヤックス自然学校、(株)ちば南房総、千倉オレンジセンター、NPO 法人たてやま・海辺の鑑定団、「わたしの田舎」谷当工房、NPO 法人佐倉みどりネット、森林塾かずさの森、(一財)千葉県観光公社、上総自然学校、NPO 法人安房文化遺産フォーラム、(株)かずさアカデミアパーク、食と農の体験工房「よもぎ館」、千倉民宿組合、ぬく森くらぶ、自然の宿「くすの木」、リゾートイン白浜、Live Stock(ライブストック)、さんむアクションミュージアム、市津・ちはら台自然楽校、NPO 法人里山会(勝浦エンゼルアドベンチャーランド)、千葉伝統郷土料理研究会、ひらつか地域活性化協議会、ピーちゃんクラブ、NPO 法人ちはら山センター、ELFIN 体験共育くらぶ、NPO 法人千葉・草原のころころファーム、(一社)森のようちえんはっぴー、環南みんなの楽校、(一財)千葉県環境財団、(有)銚子海洋研究所、東京クラシッククラブ、ワイズスノー&アウトドアスクール、みらい seeds

●賛助会員（6 団体）

館山日東バス株式会社、(財)ちば国際コンベンションビューロー、株式会社富楽里とみやま、株式会社 HMC 東京 旅行事業部、スコープジャパン株式会社、林造園土木株式会社

指定管理施設

現在、県内にある3ヶ所の施設を指定管理者として管理・運営しています。

- ・南房総市大房岬自然の家(千葉県の施設として平成17年9月～平成20年3月)
(南房総市の施設として平成20年4月～)
- ・千葉県立大房岬自然公園(平成18年4月～)
- ・千葉県立君津亀山少年自然の家(平成20年4月～)



県立大房岬自然公園



南房総市大房岬自然の家



県立君津亀山少年自然の家

運営施設

- ・かやぶき屋根の古民家「ろくすけ」(平成16年5月～)



千葉自然学校のミッション

体験活動を通じ

- ・だれもが人生を豊かに生き、支え合う力を育む
- ・地域の資源を保全・活用し、次代に引き継ぐ
- ・ネットワークを充実し、地域の活性化をめざす



千葉県内における自然体験活動団体をつなぐネットワーク型の自然学校として、平成15年より活動を行っています。自然体験を通して、千葉県の里山・里海の保全と地域の活性化を目指しています。

また、ネットワーク会員との連携を強化し、県内全域で幅広い世代を対象とした自然体験活動を実施しています。

スタッフのつぶやき

■新年早々、メキシコからの留学生がホームステイにやってきた。メキシコでの暮らし振りを聞くにつけ、地に足が付き勉強と仕事を両立した暮らし、夢のある人生設計に只々感心。この年になって良い経験をさせてもらった。(オーシャン)

■やりたい夢とおとろえる知力体力の調整はむずかしい。(サニー)

■ナッジ理論とは、「ヒジで軽く突くような小さいアプローチで人の行動を変える戦略」。やってみるか！(ボクサー)

■最近、平群ではシカの声は久しく、代わってキョンの鳴き声が山間に響く。不気味に。(ぺったん)

■はじめの一步、続ける楽しさを忘れずに。子どもやファミリーの外遊びを応援します！(たこはち)

■関わること15年。人と出逢いや様々な経験、夢の実現をさせて頂いた。溢れる感謝とともに旅立ちます。(けろっぴ)

■新メンバーで走り出す2019年度。どんな1年になるか、どんな1年にするか、楽しみです。(かつえ)

■春になると、わくわくとそわそわ。新緑のように、希望溢れるスタートです。(のりべん)

■今後の目標と覚悟を決める時期に。本格的に基礎体力づくりにも挑戦。(らうす)

■君津亀山少年自然の家から千葉事務所に配属になりました。「一日のスタートは元気な明るいあいさつから」これからもよろしく願います。(アリ)

■今月より千葉事務所勤務になりました山崎です。都市部の生活、期待半分ドキドキ半分。(だいずけ)

認定NPO法人を目指して ～ご寄付のお願い～

当法人の活動趣旨にご賛同いただいた企業・団体・個人の皆様からのご支援をお待ちしております。(一口3,000円)

▼振込先(郵便局/払込取扱票を使用)

振替口座 00170-5-259431

加入者名 特定非営利活動法人 千葉自然学校

※払込取扱票に以下のご記入をお願いいたします。

【住所氏名欄】ご住所、お名前、電話番号

【通信欄】「寄付」、領収書のご希望有無

▼振込先(銀行)

千葉銀行 千葉駅前支店 普通 3740275

特定非営利活動法人 千葉自然学校 理事長 飯田 洋

※お手数ですが、ご住所・お名前・電話番号・領収書のご希望有無を千葉事務所(下記)へお知らせください。

発行： **NPO法人 千葉自然学校**

千葉自然学校ニュースレター(年4回発行)

■千葉事務所 〒260-0015 千葉市中央区富士見 2-3-1 塚本大千葉ビル 7 階

電話：043-227-7103/FAX：043-202-7237

ホームページ：<http://www.chiba-ns.net> メールアドレス：info@chiba-ns.net

